

新産会

enjoy & smile



新世代産業研究会 / 発行
発行責任者 市川 聡
編集責任者 三浦 光広
平成29年12月1日 発行

<http://www.shinsankai.gr.jp>

愛知県産業労働部長との勉強会のご報告

11月20日（月）名古屋国際ホテル（老松の間）におきまして、愛知県産業労働部長 吉澤隆（よしざわたかし）様との勉強会が行われました。ご来賓として、愛知県産業労働部中小企業金融課主幹 長谷川康征様、同課課長補佐 小林克明様、公益財団法人あいち産業振興機構理事長 森鋭一様、同常務理事 石原徹様をお迎えし会員出席者20名による盛大な勉強会となりました。

昨年より就任された吉澤部長の講演は、「一緒に考えよう 愛知県の産業の未来」という43ページにもわたる厚い資料を用意して頂き、①簡単な現状確認 ②愛知県が実施した調査から見えること ③愛知県の産業の未来を考える材料 ④愛知県の産業の未来を考える切り口等について豊富なデータを元に私見を含めて多面的にお話いただきました。世界的に「G0（ジーゼロ）」と言われる多（無）極化が進展する昨今、中小企業の経営にとって重要な今後の方針決定のヒントになるような内容をいくつかお聞きすることができました（詳細は本紙裏面参照）。



勉強会の後は隣の会場へ移して懇親会が開催されました。あいち産業振興機構 森理事長の乾杯のご挨拶のあと、美味しい食事とお酒を愉しましました。今回の懇親会は写真のように立食でなく着席で、落ち着いた雰囲気の中で懇談が続きました。最後に愛知県産業労働部中小企業金融課主幹 長谷川康征様より、中締めのご挨拶を頂きお開きとなりました。

（22期 熊澤鉄郎）



「一緒に考えよう 愛知県の産業の未来」 (産業労働部長講演要約)

1. 簡単な現状確認

昨年度の日本全体の経済成長率は0.6%で、世界全体の3.6%から大きく下回っている。その中であって愛知県は39年連続で製造品出荷額は日本一、貿易収支においても我が国全体の黒字(約4兆円)の2倍(約8兆円)を稼ぎ出しており、人口の自然増・社会増が共にプラスという数少ない県である。

2. 愛知県が実施した調査から見えること

ただし、多くの中堅・中小企業が景気回復を実感できておらず、特に卸・小売業は製造業に比して厳しい状況にある。中小企業の経営課題としては人材不足・人材育成が突出しており、事業承継の認識・取組も他県より遅れている。また、県内企業の海外展開の増加は一服し、足元は減少傾向にある。

3. 愛知県の産業の未来を考える材料

2015年の我が国の総人口は1億2709万人、それが50年後には8808万人と推計されている(出生・死亡中位推計)。愛知県においても出生率の推移等の不確定要素が多いものの減少傾向は間違いなく、人口増減・高齢化率は地域別のバラツキが大きくなる。「日本経済研究センター」によれば、2030年までの都道府県別の実質産出額の伸び率は愛知県は0.34%で、全国3位(全国平均0.16%)。2030年頃までは輸送機器をはじめとする製造業にけん引されプラス成長となるが、今世紀に入ってから政治・経済を巡る環境は激変しており課題も多い。デジタル経済・サイバー空間への対応も必要になる。

4. 愛知県の産業の未来を考える切り口

自動車産業に依存し大半は愛知県内で完結するような産業構造が大きく変化し、付加価値の重心は愛知県の既存企業が必ずしも得意とは言えない製品・サービス分野へシフトする可能性がある。そうなるとこれまでの階層型ピラミッド構造ではなく、競争力のある製品・サービスを提供できる会社同士による全国・世界規模での「水平型アライアンス」が進んでいく。それを乗り切る切り口の例としては、①自前主義から脱却し、開かれたイノベーションを目指す。②次代の経営者への切り替えを機に、全国・世界に目を開いた新たな事業展開を目指す(「事業承継型ベンチャー」)。・・・等が上げられる。

(22期 熊澤鉄郎)

新産会ゴルフコンペのご報告

去る11月17日に、犬山カンツリー倶楽部にてゴルフコンペを開催しました。朝晩は冬の寒さを感じる季節になりましたが、この日は写真のように雲一つない快晴。風がなく、寒さを感じない爽やかな気候で、ゴルフを楽しみました。

写真ではわかりにくいですが、今回の参加メンバーは右から25期山田さん、43期内村さん、16



期近藤さん、16期山口さん、29期深井さん、21期田村さん、37期市川の7名。コンペの成績は、実力ナンバーワンの田村さんが優勝!後半は2オーバーの38でプレイされ、正確なショットとパターは、まるでトーナメントの選手を見ているようでした。

私の方は相変わらずの腕前で、スコアはさっぱりでしたが、和やかなムードの中、楽しく過ごさせていただきました。

ご参加いただきました皆様に感謝しております。ありがとうございました。

(37期 市川 聰)